

9-2

生活リハビリの活性化、個別への援助方法

非常勤職員 PT・OT の有効活用

生活リハビリ

個別対応

特別養護老人ホーム 多摩特養老人ホーム

介護職員 松川 伸生	介護職員 山岸正典・
東京都八王子市宮下町355	介護職員 三野堯 他リハビリ係一同
TEL : 042-691-0074	E-mail : info@tamatokuyou.net
FAX : 042-692-3592	URL : http://tamatokuyou.net

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	利用者80名、ショート2名の特養です。利用者の方に満足していただけるサービスを提供するには、職員が元気で介護に生きがいをもっている事が重要です。生活リハビリの考え方は、利用者・職員ともども元気が出ます。
----------------------------	---

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○OPT・OT との連携の見直し○生活リハビリに対する職員の意識・スキルの向上○利用者自ら動きやすい環境を作り自立を支援する○係間・他係との連携強化○周知方法の確立 <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none">○職員の生活リハビリに対する意識向上のため他職種を含めリハビリ係による検討を実施。○リハビリ評価方法の確立とケアプランへの連動○サービス担当者会議にあわせた評価方法のシステム作り○担当職員へのフィードバック○全職員への周知徹底・写真を用いた情報の共有○係間で連携強化のために連絡ノートを作成○物品を整理・整備する事により PT・OT が動きやすくなった。	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">○リスク面では介護事故が大幅に減った○個別の対応方法が統一された○他部署との連携が強化されたことにより介護職員の専門性が深まった○利用者の担当としての自覚が深まった○個別機能訓練加算をとっている具体的な記録になっており、家族の方への情報開示等のサービスにもなっている。 <p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○周知方法の改善 人による差がありそれをなくす工夫○評価結果のファイルを検索がしやすいようになど、見やすくする○マンパワー不足○記録に時間がかかる <p>〈参考資料など〉</p>
---	--

【メモ欄】